

言語に関する資質・能力の要素

(言語に関する認知と思考のプロセスに着目して、主に知的活動の側面から整理したイメージ案)

認知と思考のプロセス

テキスト・情報の理解

- ことばの特徴やきまりに関する知識・技能の活用
 - 書き手、話し手の意図や立場の理解
 - 場面、文脈の理解
 - 照応処理（指示語の特定等）
 - 事実と意見の区別
 - 文と文の関係や文章全体の構成の理解
 - 情報と情報の関係の理解（原因－結果、判断－根拠、問題－解決、定義－例示など）
 - 既有知識に基づく補足や精緻化
- 言語感覚による捉え
次の展開を予測
感情の読み取り
- など

構造と内容の把握

- 新しい情報を、既に持っている知識や経験・感情に統合
- 全体として首尾一貫した意味内容を再構築・構造化

解釈・考えの形成

メタ認知した知識も含む

獲得した知識を活用して次の理解へ

形成した考えを活用して次の表現へ

文字や音声による表現

命題の設定

伝える情報の取捨選択、構造化

内容・構成・表現の検討

表現

- ことばの特徴やきまりに関する知識・技能の活用
 - 読み手や聞き手への意識・想像
 - 場面の理解
 - 自分の意図や立場の明示
 - 文と文の関係や文章全体の構成の明確化
 - 情報と情報の関係の明確化（原因－結果、判断－根拠、問題－解決、定義－例示など）
- 思いや感情の意識化
言語感覚による判断
事実と意見の区別
- など

- 推敲【文章表現】
- 誤字や言い回しの修正
 - 内容や文章の再評価

- 状況に応じた調整【音声表現】
- 相手に配慮した表現
 - 相手の視点を考慮した展開

獲得した知識、形成した考えを活用して、次の理解や表現へ

考えの形成